



いよいよ7月16日(土)13時開館

スゴイぞ！新しい石川県立図書館

基本構想発足から約5年、着工からおよそ3年という長い年月を経て、ついに開館を迎える「石川県立図書館(愛称:百万石ビブリオバウム)」。
国内最大級の規模を誇る「知の殿堂」は、これまでの図書館の概念を打ち破る施設としても大注目！
オープンがさらに楽しみになるポイントを選びすぐてご紹介します。

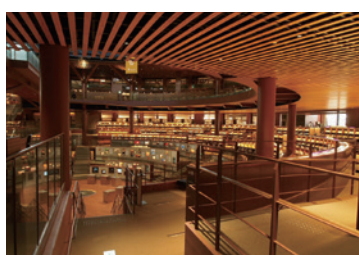
スゴイポイント 1

堂々たる姿はまさに「知の殿堂」
建物

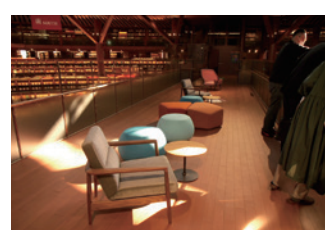
タイル貼りの壁とガラスが交互に折り重なる外観は、本のページをめくるイメージ。新たな知識や体験との出会いを連想させるデザインです。方角ごとに加賀五彩で色分けされた館内には、天井や壁などいたるところにヒバやスギなど県産の材料がふんだんに使われており、石川らしさを存分に感じられます。駐車場は約400台分完備。路線バスも乗り入れる予定でアクセスにも困りません。

スゴイポイント 2

圧倒的な開放感と
美しさを備えた
大円形閲覧空間



本の顔でもある装丁を見せる配置で本への興味を引き出す工夫も。



3階に架かるブリッジは館内を360度見渡すビューポイント。ソファで開放感たっぷりの読書タイムをすごせます。

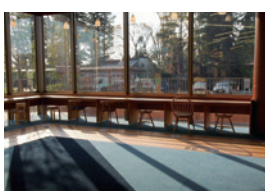
スゴイポイント 3

自分を広げる出会いと経験を
文化交流エリア

階段状のオープンスペース「だんだん広場」は講演会や上映会などにも使える空間。キッチンを備えた「食文化体験スペース」、3Dプリンタやレーザーカッターが置かれた「モノづくり体験スペース」など文化的な活動や交流の場として利用できることも大きな特徴です。

スゴイポイント 4

乳児から高学年まで遊んで学べる
こどもエリア



こどもエリアの窓際スペース。机とさまざまな椅子が並び、集中して本を読める高学年向けのエリア。

乳幼児から低学年、高学年向きの空間がゆるやかにつながっており、成長に合わせてさまざまな楽しみ方ができます。アスレチック遊具のようなあそび場の周囲に児童書が並び本棚が置かれており、体を使って遊びながら本の世界にも触れられます。



円形空間はゆるやかなスロープでつながっており、車椅子やベビーカーも移動しやすいつくり。



本棚の間などわずかな空間にも椅子や机があり、気になる本との出会いを存分に楽しめます。



保護者が交流できる椅子席やバビも入室OKの授乳室も完備。



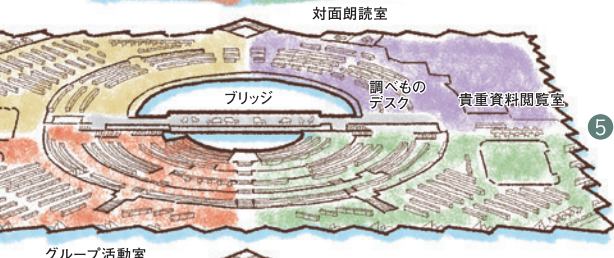
最上階は1周約160mの回廊。
館内を見下ろす眺めも
絵になりますよ!

4F

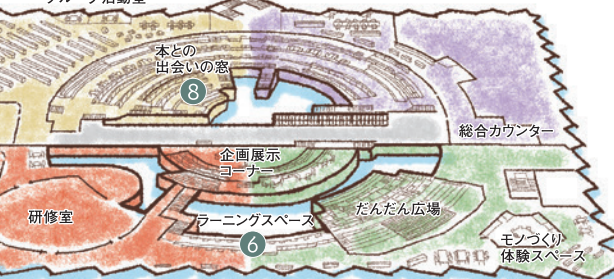


サイレント
ルーム ⑦

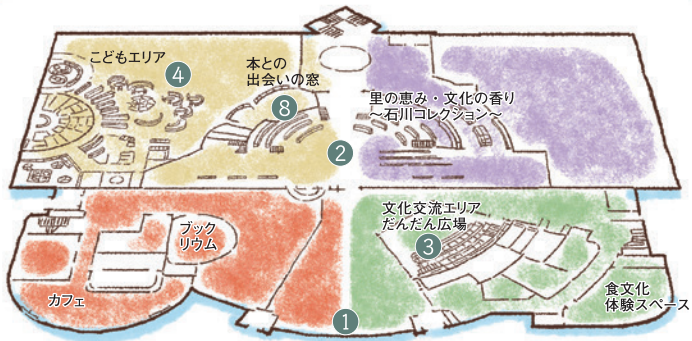
3F



2F



1F



取 材 協 力



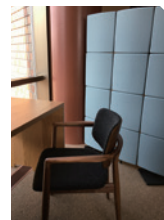
石川県立図書館

金沢市小立野2丁目43番1号 (旧金沢大学工学部跡地)
 開【閲覧エリア】平日9:00~19:00、土日祝9:00~18:00
 【文化交流エリア】平日9:00~21:00、土日祝9:00~18:00
 休 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始、特別整理期間
 ① 約400台。入庫後30分無料、以降30分ごとに100円。図書館利用者は3時間無料。
<https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp>

パーソナルな閲覧席

スゴイ!
ポイント
5

窓際には一人または複数で
思い思いにすごせる閲覧空
間が。チェアや間仕切りは色も形も種類も
さまざま、石川県立図書館オリジナルや
世界の名作も惜しげもなく置かれています。
お気に入りの居場所を探しましょう。



パーソナルな閲覧席

スゴイ!
ポイント
6

ラーニングスペース



テーブルやベンチが置かれ、
読書や勉強のほかリモート
ワークや待ち合わせや打合
せなどさまざまなシーン
で活用できます。電源や
Wi-Fi完備もうれしい。

サイレントルーム

館内はおしゃべりOKなので、読書に没頭
したい人はここへ。パソコンのタイピングも
NGの静寂空間です。

スゴイ!
ポイント
7

スゴイ!
ポイント
8

本との出会いの窓

大小さまざまな窓に見立てた本棚は、図書館
司書によるおすすめ本のプレゼンコーナー。
手描きPOPなどで、いつもと違ったジャンルへ
関心を持てる仕掛けが凝らされています。



教えてくれた人



石川県立図書館
経営管理課 担当課長

西村 太一さん
Taichi Nishimura

当館の基本構想を策定したのは平成29年。それからの5年間は、図書館を
利用される方々の言葉や、声にならない想いを少しでも形やサービスに反映
するよう取り組んだ、まさに言葉通り瞬間でした。
「思いもよらない本との出会いや体験によって、自分の人生の1ページをめくる
ことができる場所へ」これはどんな図書館でありたいのか関係職員みんなで
利用される方を想像し、自分たちの想いを言葉にしたものです。さまざまな
立場や環境、悩みや喜びをもった誰しもが快適な居場所を見つけられる図書館
でありたいと願っています。